

環境経営レポート2021



2021年度版

対象期間 : 2020年10月 ~ 2021年9月

発行日 : 2021年12月10日



株式会社CROSS

目 次

1	ご挨拶	1
2	社是と経営理念	2
3	経営ビジョンと経営目標	3
4	事業概要	4
5	SDGsに貢献する事業活動	5
6	組織の概要	6
7	環境経営方針	7
8	環境経営実施体制	8
9	環境経営目標・環境経営計画の実績・取組結果と その評価並びに次年度の環境経営目標と環境経営計画	9 ~ 11
10	想定CO2排出量に対するCO2削減実績推移	12
11	環境関連法規等遵守状況確認・評価並びに 違反訴訟などの有無	13
12	代表者による全体の評価と見直し・指示	14
13	職場における環境活動	15
14	ステークホルダーとの交流	16

1. ご挨拶

私が環境問題に取り組まなければならないと思ったきっかけは、何気なくテレビを見ている時でした。それは海洋プラスチック問題を取り上げた番組でしたが、そこに映し出されたのは、はるか遠くの無人島の浜に打ち上げられた大量のペットボトル、そしてウミガメやアザラシの体内から大量のビニール袋が出てきた映像、もっともショックであったのが廃棄された漁網が長い間海に残り続け、その漁網に絡まったウミガメや海鳥などの生き物が溺死した映像でした。そのウミガメが何年も苦しみながら海を彷徨い、最終的に命を落とす映像に、悲しみ以上に自分も加害者の一人なのではという思いを抱きました。コンビニの普及により大量のレジ袋が生産され、そのレジ袋も用が済んだら当たり前のようによくすぐ廃棄されてしまう。飲み物の多くはペットボトルで売られ、飲んだらゴミ箱へポイ。その先のことは考えておりませんでした。ウミガメの映像を見るまでは・・・

弊社にはこれからの会社を担っていく若い従業員が多く在籍しております。皆、真面目に一生懸命働いておりますが、環境問題に対してはさほど興味を示していないように感じられました。このような現実直面したことで「私が率先して働きかけをしなくては」という強い衝動に駆られ、エコアクション21に取り組むことを決めました。弊社の取り組みのモットーは“できることからやっていく”ということです。難しく考えず、まずは環境問題を一人一人が意識することから始めています。活動内容はとてもシンプルです。

本社事務所では

- 1.毎日ゴミの分別をしっかりと行う…完全廃棄処理ゴミとリサイクルごみの分別
- 2.無駄なゴミを出さない…ごみの収集を毎週月・水・金に定めその日のゴミの量を計測し、前週と比較することでゴミを減らす
- 3.昼休憩時の消灯…限りある資源を大切に

現場では

- 1.工事で使用する材料の選定においては原料を配慮し決定する
- 2.再利用できる材料は適材適所で使用する
- 3.廃棄物の分別をしっかりと行い所定の場所・方法で廃棄する

他にも身近な所でできる細かな活動を実施しておりますが、肝心なことは従業員一人一人が環境問題に関心を持ち、自らが毎日何らかの環境活動に携わっていることを実感することです。建築工事に携わり現場で資材を扱う私たちは特に環境問題に対し当事者意識をもって取り組むべきだと考えております。

これからも社内のエコアクショングループのメンバーを中心に、地道にコツコツと活動してまいります。

代表取締役 佐野 勝彦

2. 社是と経営理念

社 是

「感動」 「感激」 「感謝」

すべてのパートナーと感動・感激・感謝を共有する。

経 営 理 念

全従業員の物心両面の幸福を追求し、全従業員の夢をかなえる。

社業を通じて、社会と業界の進歩発展に貢献する。

現状に甘んじることなく、創意工夫と努力で、一步一步前進する。

< 行 動 基 準 >

- 1 挨拶の励行
- 2 創意工夫と努力を惜しまない
- 3 6S（整理・整頓・清潔・清掃・躰・作法）の実行
- 4 約束した時間を守る
- 5 業務はP D C Aサイクルの活用により進める
- 6 報・連・相の徹底

3. 経営ビジョンと経営目標

経営ビジョン

社会の課題とニーズに対応
できる柔軟で強い事業体制

- 社会と環境の課題解決に貢献できる事業展開
SDGs目標に対応した事業
- 環境負荷を削減する事業活動
- 顧客満足が得られる設備・施工・サービスの提供

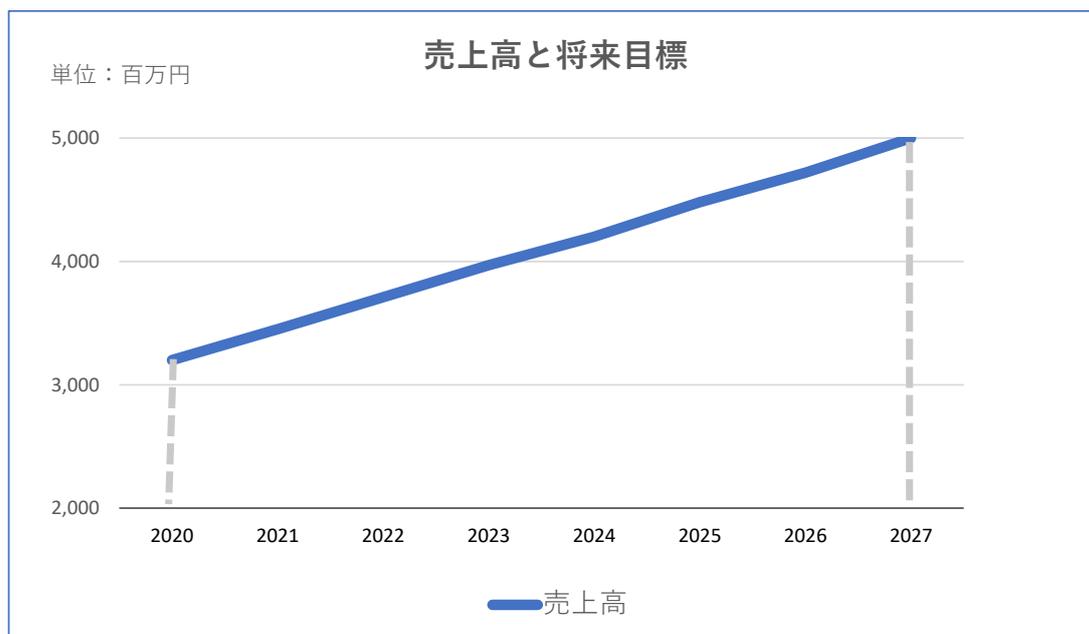
持続的成長が可能な経営力
と経営基盤の強化

- 営業体制の強化と技術力の向上
- 業務プロセス改善と効率向上
- 人財の確保と若手社員の育成
- 社会及び顧客に信頼される企業価値向上

従業員が生き生きと働きが
いのある企業風土づくり

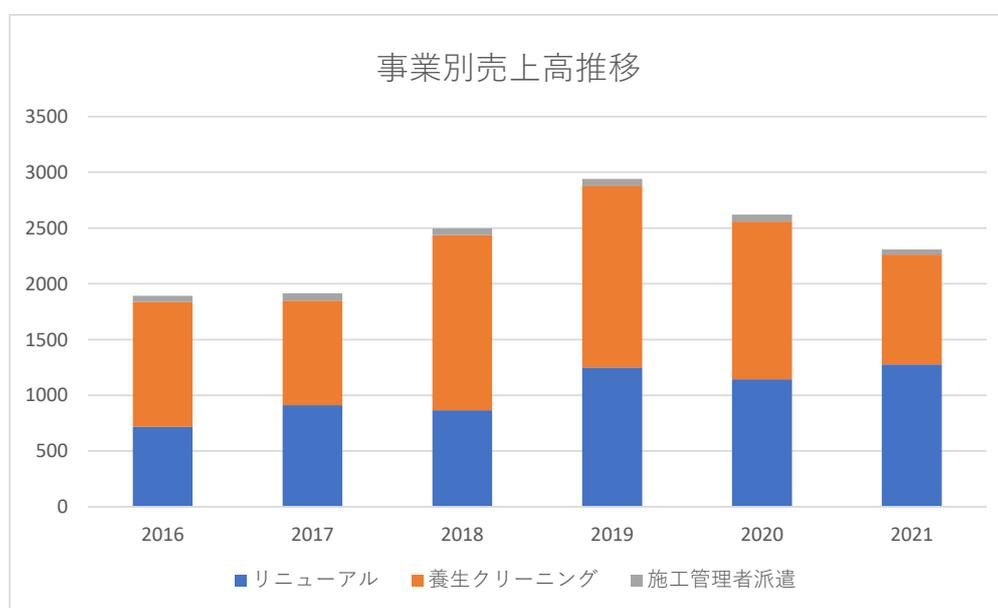
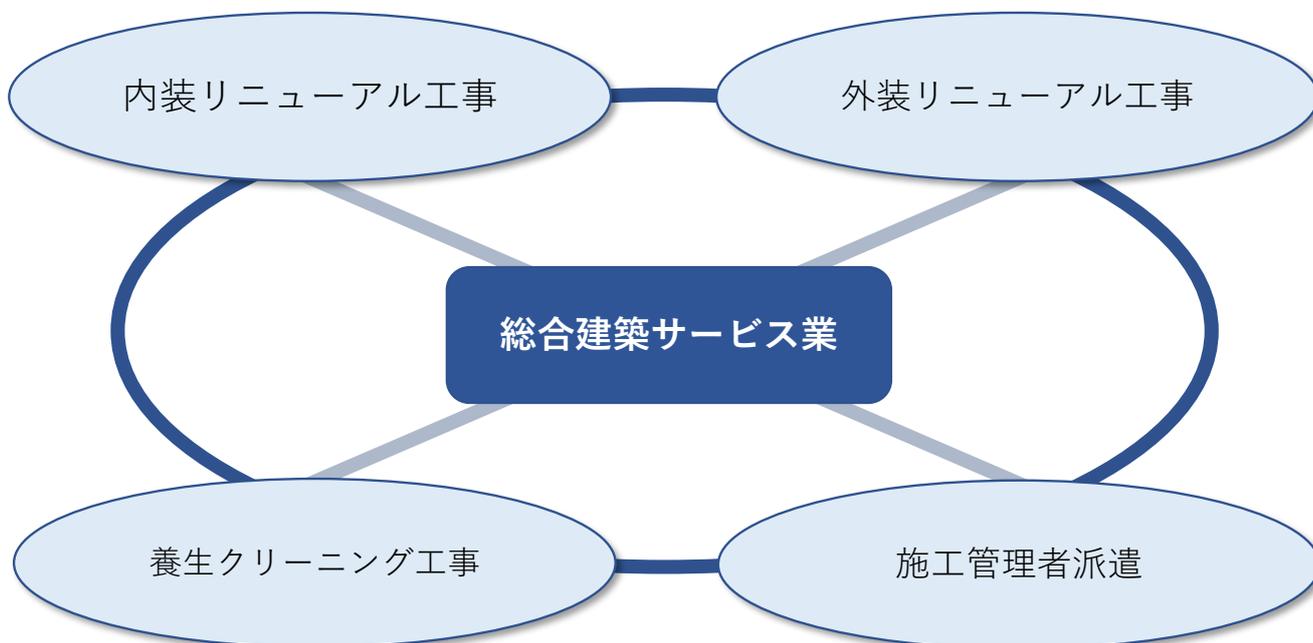
- 社内コミュニケーションの活性化
- 働き方改革への取組み
- 従業員の力量とモチベーションの向上
- 人事評価システムの見直し実施

経営目標



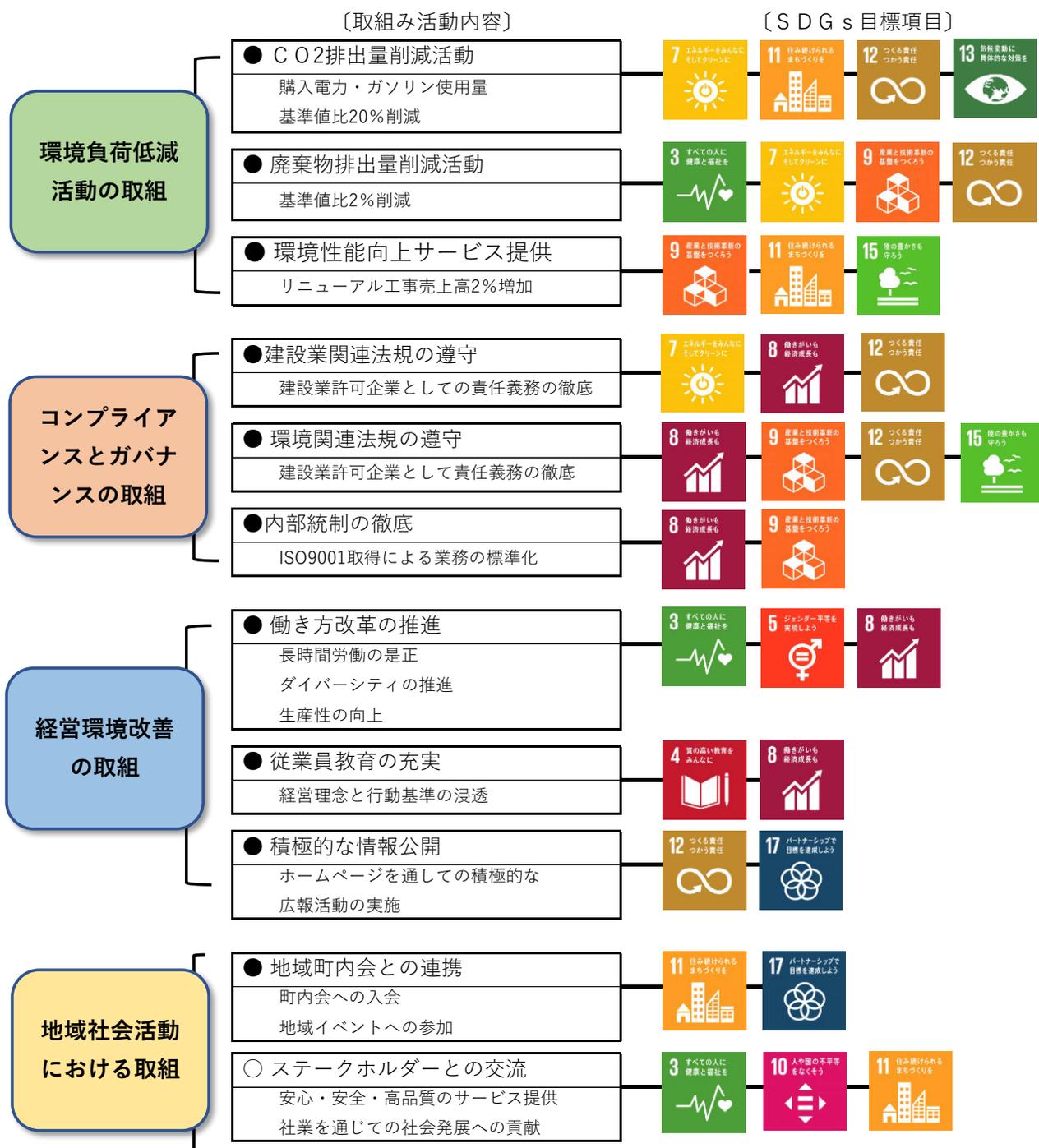
4. 事業概要

弊社の事業概要



5. SDGs に貢献する事業活動

弊社は、SDGs（持続可能な開発目標）などグローバルな社会課題にも目を向け、事業活動を通して、その解決に少しでも貢献できるように取り組んでいます。



※〔凡例〕 ●印—既に取組中 ○印—今後取組予定

6. 組織の概要

■ 社名・代表者名・本社所在地

社名 株式会社CROSS
 代表者名 代表取締役 佐野 勝彦
 本社所在地 〒103-0004 東京都中央区東日本橋二丁目24番14号

■ 会社設立・資本金

設立年月日 1972年6月1日 資本金 2,000万円

■ 事業内容

内装リニューアル工事、外装リニューアル工事、養生クリーニング工事、施工管理者派遣

■ 環境管理責任者・担当者・連絡先

環境管理責任者 小林 亮 担当者 関根 一馬
 連絡先 所在地 〒103-0004 東京都中央区東日本橋二丁目24番14号
 電話 03-5829-6415 F A X 03-5829-6417
 電子メール kobayashi@cross2018.co.jp sekine@cross2018.co.jp

■ 事業所・対象範囲（認証登録範囲）

事業所名	所在地	業務内容	対象範囲
本社	東京都中央区東日本橋二丁目24番14号	営業・工事・管理	○
倉庫	東京都中央区東日本橋二丁目12番5号	倉庫	○

■ 事業の規模

	単位	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
年商	百万円	1,915	2,498	2,941	2,621	2,238
従業員数	人	78	79	81	83	84
床面積（本社）	m ²	293	293	293	293	293
床面積（倉庫）	m ²	125.58	125.58	125.58	125.58	125.58

■ 事業のための許可取得状況

許可名称	許可番号	許可年月日	有効年月日
建設業許可	東京都知事（特-2）第39110号	令和2年10月21日	令和7年10月20日
労働者派遣事業許可	厚生労働大臣許可 派13-311933	平成30年12月1日	令和8年11月30日

■ 有資格者

資格名称	人数	資格名称	人数
二級建築士	1名	一級建築施工管理技士	8名
一級管工事施工管理技士	1名	二級建築施工管理技士	15名

7. 環境経営方針

環境経営方針

[経営理念]

- 全従業員の物心両面の幸福を追求し、全従業員の夢をかなえる。
- 社業を通じて、社会と業界の進歩発展に貢献する。
- 現状に甘んじることなく、創意工夫と努力で、一步一步前進する。

[環境方針]

株式会社CROSSは、上記経営理念のもと経営における環境への取組みの重要性を強く認識し、当社の建物リニューアル工事、養生・クリーニング工事等の事業において環境負荷の少ない活動並びに環境に配慮した工事・サービスの提供に取り組むことにより、低炭素社会・循環型社会の形成に貢献すると共に当社の将来に向けた企業価値向上を目指します。

環境への取組みに当たっては、以下の重点分野に基づき全従業員参加により推進すると共に環境関連法規等を遵守し、環境経営の継続的改善を図ることを誓約します。

[環境への取組の重点分野]

1. 二酸化炭素排出量削減
 - ① 事業所内における電気使用量の削減に努めます。
 - ② 工事現場における節電に心掛けます。
 - ③ 車輛等の燃料使用量削減に努めます。
2. 廃棄物排出量削減
 - ① 事業所から発生する一般廃棄物の削減に努めます。
 - ② 建設工事及び事務所からの産業廃棄物の排出を抑制すると共に適正処理を行います。
 - ③ 資源の有効利用と使用済資源のリサイクルを推進します。
3. 水使用量削減
 - ① 事業所内の水使用量の削減に努めます。
 - ② 建設工事に係わる水使用量の抑制に心掛けます。
4. 化学物質量の削減（管理）
 - ① 化学物質を使用する場合は、適切に使用量管理を行います。
5. 自らが施工・販売・提供する製品・設備・工事等の環境性能向上及びサービスの改善
 - ① お客様に環境に配慮した工事の提案をします。
 - ② 環境配慮型工事の受注拡大に取り組みます。
 - ③ 環境コミュニケーション促進により従業員の意欲向上及び企業の信頼性向上を目指します。

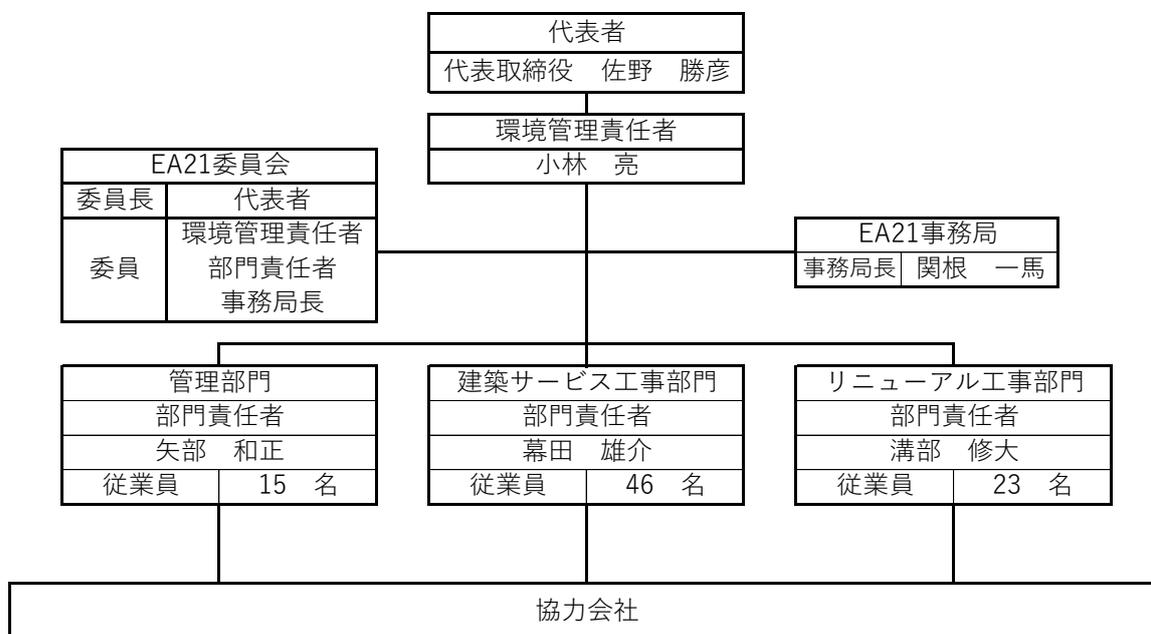
この環境方針は、全従業員に周知すると共に、一般にも公開します。

制定： 2016年9月1日
改訂： 2019年10月1日

株式会社CROSS
代表取締役 佐野 勝彦

8. 環境経営実施体制

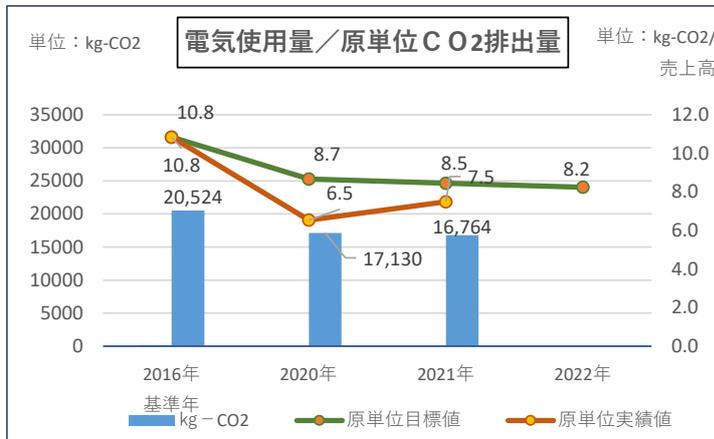
環境経営システム実施体制図



役割、責任及び権限表

対象者	役割、責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> 経営における課題とチャンスを整理し、明確にする 環境経営に関する方針（環境経営方針）を定め、誓約する 効果的で必要十分な実施体制を構築し、役割、責任及び権限を定め全従業員に周知する 環境経営に必要な資源（人・もの・資金・情報）の用意する 環境経営全体の取組状況を評価し、総括的見直し、必要な指示を行う
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営目標、環境経営計画の作成・承認及び社内周知 全社組織へのEA21活動実施の統括 EA21活動結果全体のとりまとめ承認及び代表者への報告 内外環境コミュニケーションへの対応 問題点の是正処置の統括
EA21委員会	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針等決定事項の社内伝達 EA21活動に関する協議、意見交換
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐 EA21活動に関する事務
部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画内容の部門内周知 部門内EA21活動の実施指揮及び部門内EA21活動結果のとりまとめ 問題点の是正処置、予防処置の実施
工事事務責任者	<ul style="list-style-type: none"> 工事施工に当たっての環境配慮の徹底 工事における節電、節水及び適正な廃棄物処理
従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営目標、環境経営計画等に基づくEA21活動の実施 EA21活動に関する提案

9. 環境経営目標・環境経営計画の実績・取組結果とその評価並びに次年度の環境経営目標と環境経営計画

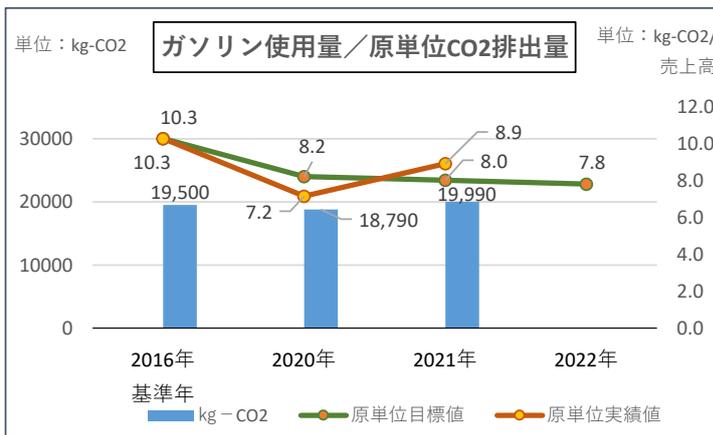


項目	2016年基準年	2020年	2021年	2022年	
目設 標定	基準比削減%	—	20	22	24
	原単位目標値	10.8	8.7	8.5	8.2
実績 値	使用量kwh	43,300	36,140	35,368	
	kg-CO2	20,524	17,130	16,764	
	売上高	1,893	2,621	2,238	
	原単位実績値	10.8	6.5	7.5	
達成評価	—	○	○		

・売上高単位：百万円 ※排出係数 0.474

・原単位：kg-CO2/売上高

環境経営計画/取組内容	対象範囲	取組結果と評価	評価	次年度の環境経営計画
①昼休みの消灯 ②残業時、点灯エリアの制限 ③PC未使用時の消灯 ④退勤時のPC消灯 ⑤夏季28°C、冬季20°C	事務所	取組内容に対して継続して実施することができている。電気使用量も継続して削減できた。	○	①昼休みの消灯 ②残業時、点灯エリアの制限 ③PC未使用時の消灯 ④退勤時のPC消灯 ⑤夏季28°C、冬季20°C

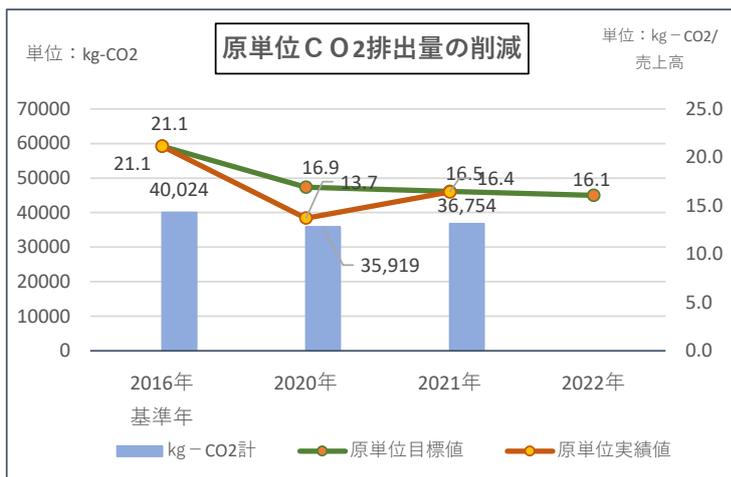


項目	2016年基準年	2020年	2021年	2022年	
目設 標定	基準比削減%	—	20	22	24
	原単位目標値	10.3	8.2	8.0	7.8
実績 値	使用量(ℓ)	8,405	8,099	8,617	
	kg-CO2	19,500	18,790	19,990	
	売上高(百万)	1,893	2,621	2,238	
	原単位実績値	10.3	7.2	8.9	
達成評価	—	○	×		

・売上高単位：百万円 ※排出係数 2.32

・原単位：kg-CO2/売上高

環境経営計画/取組内容	対象範囲	取組結果と評価	評価	次年度の環境経営計画
①エコドライブの徹底 ②車両別運行計画の徹底	現場	新型コロナウイルスの影響で通勤体系が変化しガソリン使用量が増加した。引き続きエコドライブの推奨を行う。	×	①エコドライブの徹底 ②車両別運行計画の徹底

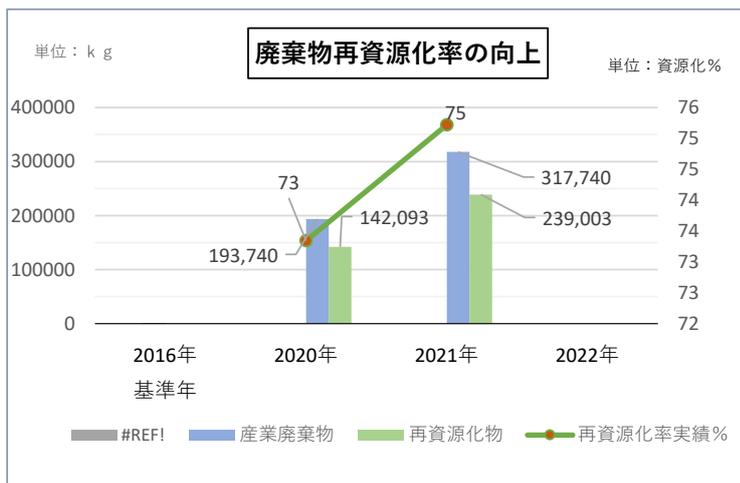


項目		2016年 基準年	2020年	2021年	2022年
目標	基準比削減%	—	20	22	24
	原単位目標値	21.1	16.9	16.5	16.1
実績値	電気	20,524	17,130	16,764	
	ガソリン	19,500	18,789	19,990	
	kg-CO2計	40,024	35,919	36,754	
	売上高	1,893	2,621	2,238	
	原単位実績値	21.1	13.7	16.4	
目標達成評価		—	○	○	

・売上高単位：百万円

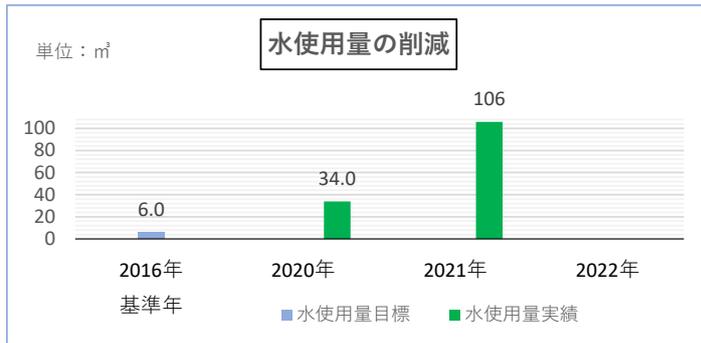
・原単位：kg-CO2/売上高（百万円）

環境経営計画/取組内容	対象範囲	取組結果と評価	評価	次年度の環境経営計画
①昼休みの消灯 ②夏季28°C、冬季20°C ③エコドライブの徹底	事務所	取組内容に対して継続して実施することが出来ている。 電気使用量も継続して削減できた。	○	①昼休みの消灯 ②夏季28°C、冬季20°C ③エコドライブの徹底



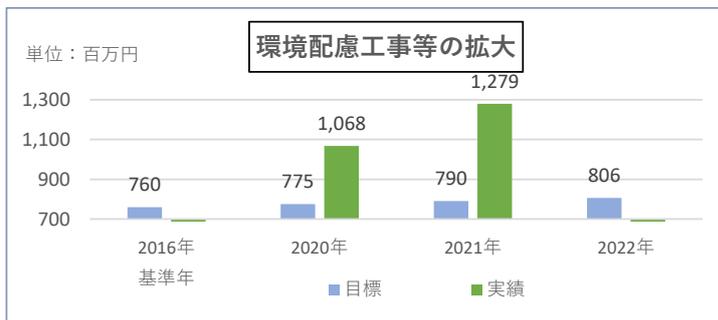
項目		2016年 基準年	2020年	2021年	2022年
目標	基準比向上%	—	—	—	—
	再資源化率%	—	—	—	—
	産業廃棄物		193,740	317,740	
	再資源化物		142,093	239,003	
再資源化率実績%			73	75	
目標達成評価		—	○	○	

環境経営計画/取組内容	対象範囲	取組結果と評価	評価	次年度の環境経営計画
①コピー用紙の両面使用 ②消耗品の有効利用 ③紙類の分別収集によるリサイクル ④リニューアル工事に伴う産廃物の分別及び排出量の把握 ⑤マニフェスト交付による適正処理	事務所	排出量の把握はできている。	—	①コピー用紙の両面使用 ②消耗品の有効利用 ③紙類の分別収集によるリサイクル ④リニューアル工事に伴う産廃物の分別及び排出量の把握 ⑤マニフェスト交付による適正処理



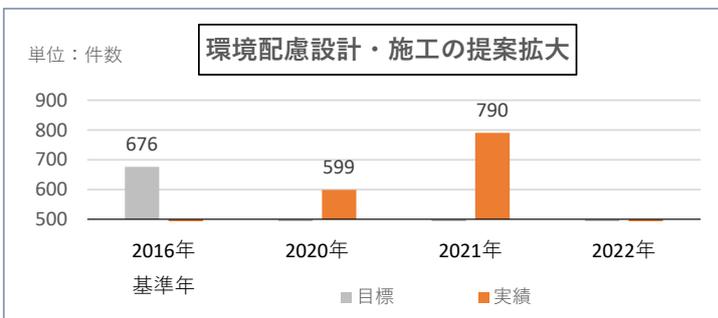
項目		2016年基準年	2020年	2021年	2022年
目標	使用量把握	-	-	-	-
	水使用量目標	6.0	-	-	-
実績	水使用量実績	-	34.0	106	-
目標達成評価		-	○	○	

環境経営計画/取組内容	対象範囲	取組結果と評価	評価	次年度の環境経営計画
①生活用水の節水（倉庫分） ※事務所分は共益費負担	倉庫	コロナ禍の影響により、倉庫を一時的に利用することになり使用量が増加した。	-	①生活用水の節水（倉庫分） ※事務所分は共益費負担



項目		2016年基準年	2020年	2021年	2022年
目標	受注増加率	-	2	4	6
	目標	760	775	790	806
実績	実績	-	1,068	1,279	0
目標達成評価		-	○	○	

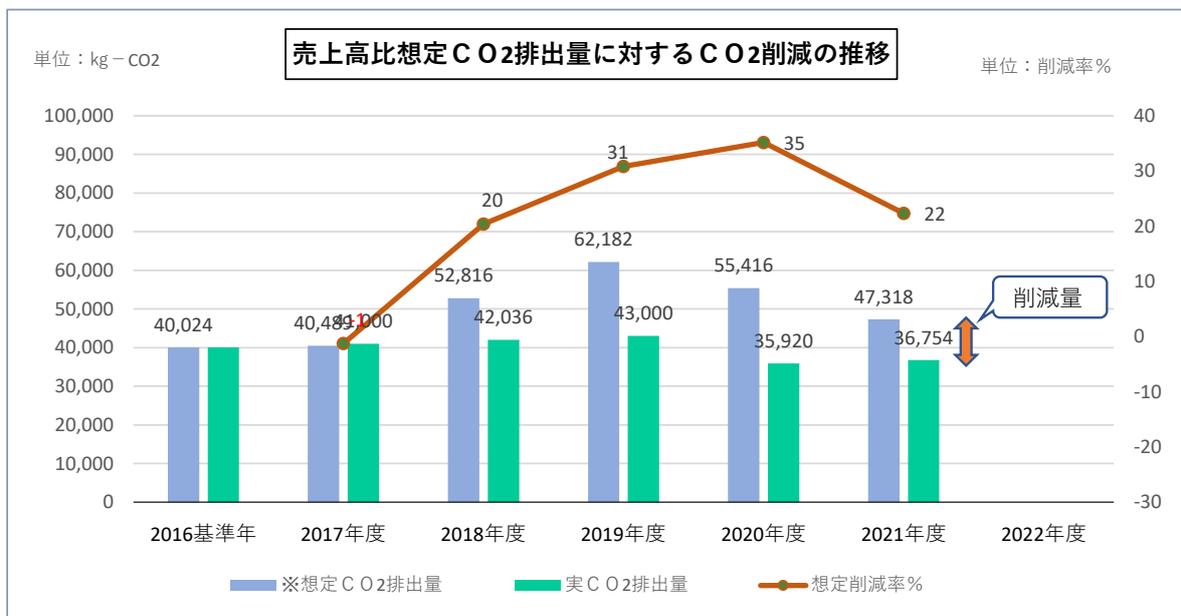
環境経営計画/取組内容	対象範囲	取組結果と評価	評価	次年度の環境経営計画
①環境配慮公共工事の受注 ②環境配慮民間工事の受注	現場	環境配慮工事の受注は増加している。	○	次年度も継続して受注高の増加を目標にする。



項目		2016年基準年	2020年	2021年	2022年
目標	提案件数把握	-	-	-	-
	目標	676	-	-	-
実績	実績	-	599	790	0
目標達成評価		-	○	○	

環境経営計画/取組内容	対象範囲	取組結果と評価	評価	次年度の環境経営計画
①環境配慮公共工事の受注 ②環境配慮民間工事の受注	現場	環境配慮工事の提案件数は減少した。しかし1件あたりの金額が増加しており、受注高は増加している。	○	次年度も継続的に環境配慮工事の提案を行う。

10. 想定CO2排出量に対するCO2削減実績推移



年度	2016基準	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
売上高	1,893	1,915	2,498	2,941	2,621	2,238	
※想定CO2排出量	40,024	40,489	52,816	62,182	55,416	47,318	
実CO2排出量	40,024	41,000	42,036	43,000	35,920	36,754	
想定CO2削減量	0	-511	10,780	19,182	19,496	10,564	
想定削減率%		-1	20	31	35	22	

※想定CO2排出量は、基準年以降削減努力しなかった場合に売上高に比例して想定した

1.1. 環境関連法規等遵守状況確認・評価並びに違反訴訟などの有無

■ 関連法規等の遵守状況

法律名	要求事項	当社が遵守すべき事項	遵守状況
廃棄物処理法	廃棄物保管場所の表示	①保管基準—飛散、流出等防止対策 ②保管場所の表示板（60×60cm以上） ・種類・管理者の名称、連絡先、保管可能量	○
	産廃収集運搬・処分事業者との二者間委託契約	①契約収集運搬業者 ②契約中間処分業者	○
	産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付	①マニフェストの交付 ②マニフェスト返送日を確認、保管	○
	年間マニフェスト交付状況報告	前年度交付分を当年6月までに報告 埼玉県	○
	建設業元請事業者の産業廃棄物処理責任	建設工事に伴う廃棄物はすべて元請事業者が排出者として責任処理	○
建設リサイクル法	特定建設資材は再利用を促進	・コンクリート ・コンクリートと鉄の資材 ・アスファルト ・木材	○
P R T R 法	第一種指定化学物質の排出量及び移動量を把握	ベンゼン、トルエン、キシレン等 使用量の把握	○
省エネ法	エネルギー使用する事業者の責務	エネルギー使用の合理化及び電気の需要の平準化に務める。	○

■ 違反訴訟の有無

当社は、上記法令等の違反及び訴訟はありません。

12. 代表者による全体の評価と見直し・指示

項目	見直し内容		
見直し実施日	2021年12月10日 (■定期見直し □臨時見直し)		
見直し対象期間	2020年10月1日 ~ 2021年9月30日		
出席者	代表者、環境管理責任者		
前回の指示事項への取組結果	①掲示ポスターによる意識付け促進 →節水、節電、ペーパーレスに関する掲示を追加し、意識向上を図った。 ②事務所内だけでなく、現場でもEA21の取組みを浸透させたい →現場の新規入場時に、ごみの分別や節電に対する取組内容を伝達している。		
代表者による評価	<p>【総括評価】 (環境経営全体の取組状況及びその効果)</p> <p>昨年同様、リニューアル工事の売上が順調に推移したことにより、環境配慮工事等の拡大の目標項目を達成することができた。リニューアル工事において更なる3Rを押し進め、環境へ配慮した事業の柱としていきたい。</p> <p>また、二酸化炭素排出量についても、同様に目標を達成することができた。要因としては、毎日の昼休憩時の消灯、働き方改革による残業削減が挙げられる。</p> <p>一方、目標未達成項目としては</p> <p>①コロナ禍における通勤体系の変化によって、ガソリン使用量が前年度より増加。 ②事務所勤務者が増えことによる、一般廃棄物排出量の増加。</p> <p>次年度目標達成に向けて、呼びかけ、掲示物の活用を引き続き行い、エコアクション21の取組み内容を社員に浸透させていく。</p> <p>【個別評価：成果があり、更に発展強化させる点】 掲示物による、省エネ・エコへの啓蒙を継続実施すること。</p> <p>【個別評価：改善又は努力を要する点】 朝礼時等に、個人でもできる省エネに対する呼びかけを実施すること。</p>		
代表者による見直し結果に基づく変更の必要性及び指示事項		変更の有無	指示内容
	【環境経営方針】	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	【環境経営目標及び環境経営計画】	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	【実施体制】	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	【その他】	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

13. 職場における環境活動

省エネルギー活動



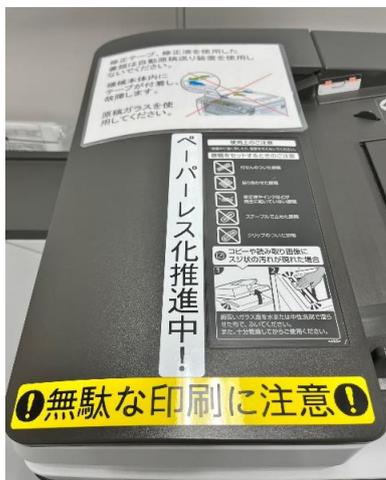
▲事務所内における省エネルギー啓発ポスター掲示状況

廃棄物の分別収集



▲廃棄物の分別収集状況

紙削減の啓発



▲ペーパーレス化推奨活動

14. ステークホルダーとの交流

安全衛生管理徹底大会



▲協力会社を集めての安全衛生管理徹底大会の実施状況

地域貢献活動



▲町内会参加による幟旗設置状況